

公益財団法人京都伝統産業交流センター

平成 31 年度事業計画

1 京都市勤業館常設展示場の展示事業

京都市内の伝統産業について体系的に紹介する施設として設置された「京都伝統産業ふれあい館」（以下「ふれあい館」という。）については、2019年10月から2020年2月までの間にリニューアル工事を行い、3月にオープン予定であり、今年度上半期はこれまでと同様に、国、京都府及び京都市が指定する京都の伝統工芸品74品目、約500点の展示を確実に行うとともに、リニューアルオープン後の新たな事業展開について企画を練り、下半期のふれあい館閉館中に3月のオープンを目指してそれら企画等の準備を行っていきます。

	平成31年度目標(4~9月)	平成30年度(見込)	平成29年度
年間来館者数	84,000	166,000	179,098
対前年度比	—	-7.3%	+6.4%

(1) 常設展示

ア 団体での見学者を対象とした解説（4~9月）

ツアー団体（少人数グループも可）や学校の授業としてふれあい館を見学する際に、京都の伝統産業や展示品についての解説を希望する来館者については、無料でレクチャーを実施します。

イ 展示品入替え（4~9月）

伝統産業関連の各組合等から出品いただいている展示品については、各組合等の協力のもと季節等に合わせて随時展示品の入替えを行います。なお、10月からの閉館期間中における現在の展示品の移動及び保管については、各組合等と十分に連携をとりながら進めます。

ウ 展示場内放映用映像の制作（9~3月）

現在展示場内で放映中の映像で取り上げられていない品目の映像を立命館大学映像学部と共同で制作します。なお、本事業は大学の企業連携プログラムの一環で授業科目の1つとして実施します。

[平成30年度：京和傘、平成29年度：和蠟燭・京真田紐]

(2) イベントルーム（4~9月）

関係団体との共催事業及び常設展示との相乗効果が期待できる展示会等を実施します。

[平成30年度：37事業、平成29年度：36事業]

(3) ギャラリー（4~9月）

当財団単独主催又は関連業界団体等との共催により企画展を開催します。

[平成30年度：9事業、平成29年度：7事業]

(4) 図書室

伝統産業及び工芸に関する約 8,000 冊の書籍と約 450 点の映像資料を備えておりますが、リニューアル工事に先駆けてこれら蔵書と資料の整理を行うため、2019 年 4 月から閉室します。

(5) 特別イベントの開催（4～9 月）

ふれあい館内において、京都市等が開催するイベントとの連動企画を実施し、ふれあい館への集客を図ります。

開催日	イベント名	実施内容
9 月 1～7 日	ICOM 京都大会	9 月 5 日に岡崎エリアで開催されるソーシャル・イベント会場の 1 つとして、館内で職人実演と日本酒関係のイベントを実施予定
9 月中旬	京まふ関連イベント	コスプレイヤー向け写真撮影スポットの運営及び撮影用伝統産業製品小物の貸出

2 伝統産業に関する振興及び啓発事業

(1) 伝統工芸品制作体験教室（4～9 月）

伝統技法に則り、世界に一つしかない作品を制作する体験事業を実施します。毎週日曜日は予約不要で摺型友禅染体験を受け付け、日曜日以外は団体や修学旅行生のみを対象として予約制で摺型友禅染のほか、京こま制作等の体験を受け付けます。

		平成 31 年度目標 (4～9 月)	平成 30 年度 (見込)	平成 29 年度
摺型友禅染	体験者数 (人)	1,700	3,468	3,103
	体験料収入 (円)	1,850,000	3,600,000	3,369,410
上記以外	体験者数 (人)	100	142	178
	体験料収入 (円)	300,000	389,900	586,040
合計	体験者数 (人)	1,800	3,610	3,281
	体験料収入 (円)	2,150,000	3,989,900	3,955,450

(2) 匠ふれあい事業

ア 常設展示場内における職人実演（4～9 月）

来館者に伝統工芸品への興味関心をより深めていただくため、伝統工芸品の制作工程を間近で見させていただき、職人と直接コミュニケーションをとることができる機会を設けます。

[平成 30 年度 (見込) : 延べ 567 人、平成 29 年度 : 延べ 641 人]

イ 各種イベント等への職人派遣

国際会議、ホテルの催事及び観光フェアなどのイベントに、主催者からの依頼により職人を派遣し、イベント会場で実演販売を行います。

[平成 30 年度 (見込) : 24 イベント 延べ 80 人、平成 29 年度 : 24 イベント 延べ 75 人]

(3) 工房訪問事業

京都を訪れる方により深く伝統産業の魅力を知っていただき、伝統産業製品の購入につなげるため、工房訪問を希望する方と工房とを当財団がマッチングする仕組みである「京都工房コンシェルジュ」について引き続き運営を続けます。

[平成 30 年度 2 月末現在：1,784 人利用、平成 29 年度：835 人利用]

(4) ふれあい館サロン

これまで開催してきた職人と他業種の方との交流会に参加してきた職人とともに、リニューアル後のふれあい館で自由提案型の企画展について検討します。また、随時交流会等を自由に開催できるよう、図書室スペースを商談やミーティングを行える交流型サロンスペースへ模様替えします。

(5) 京ものユースコンペティション事業

若手職人の研鑽と露出の機会の創出を目的として、京都市から企画・運營業務を受託して実施します。

(6) 伝統産業に関する講演会の実施

京都ビジャーズホスト養成研修メニューとして伝統産業に係る講義をシリーズで実施するほか、大学等からの要請があれば伝統産業に関する出張講義を行います。

3 伝統産業製品の提供事業

現代の人にとって敷居が高くなりがちな伝統産業製品を身近に感じていただけるように、オンラインショップ「京もの専門店みやび」を運営するほか、京都迎賓館や二条城のオリジナルグッズ、会議やイベントで出席者に配られる記念品として伝統産業製品の販売に取り組みます。

【売上額】

(単位：円)

	平成 31 年度目標	平成 30 年度(見込)	平成 29 年度
オンラインショップ等	6,700,000	7,000,000	7,690,507
実店舗出展	600,000	700,000	921,538
常設展示・実演販売	1,500,000	3,300,000	3,929,402
記念品(特別注文)等	28,000,000	28,300,000	28,143,831
合計	36,800,000	39,300,000	40,685,278

4 その他受託事業

以下の団体及び事業の事務局業務を受託し行います。

- ・ KYO-MONO is COOL!プロジェクト実行委員会
- ・ 京都伝統産業青年会
- ・ 京都市産業技術研究所の若手伝統工芸作家作品の展示販売事業

5 広報活動

(1) SNS 及び口コミサイトの活用

リニューアル工事による閉館期間中も、今後行う予定の企画内容等をこまめに発信することにより、客離れ防止対策を行います。

(2) 観光業界への情報提供

- ・ ニュースレターの送信（月1回）
- ・ 観光案内所や宿泊施設等へのパンフレット配架依頼
- ・ 工芸品展示や職人実演に係るホテルからの要望への対応
- ・ 修学旅行生誘致のためのパンフレット送付

(3) 他施設及び他団体との連携

- ・ 岡崎コンシェルジュ PR サイトへの情報提供
- ・ 大学イベントへの協力を通じた若者へのアプローチ

6 ふれあい館リニューアルオープンに向けた準備

リニューアル後、柔軟な空間利用が可能となるふれあい館の特徴を最大限活用し、来館者にとって魅力的であるとともに伝統産業製品の需要拡大・伝統産業の担い手育成につながる展示やイベントを企画していきます。なお、これらの企画の準備及び実施を担う人材を雇用します。

また、展示等の企画・運営に当たっては、地下1階フロア（常設展示場、イベントルーム、ギャラリー、ミュージアムショップ及び光庭）が全体として魅力的な空間となるよう、みやこめっせ指定管理者その他関係各所と十分に協議を行いながら進めます。